

学校教育アンケートの集計結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2月も中旬を迎え、各学年とも年度末の締めくくりを行っています。

さて、2学期末の個人懇談の折にアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果が出ましたので、ご報告いたします。

貴重なご意見を今後の学校運営に生かしていきたいと考えております。今後ともよろしく願います。

1 児童・保護者アンケート、教職員自己評価

※ 各アンケートのA（よくできた）B（まあまあできた）の合計が85%以上を「A」、C（あまりできなかった）D（できなかった）の合計が30%以下を「C」としています。また、前年度7月の比較で上昇したもの↑、下降したもの↓としています。

	アンケート項目	児童	保護者	教職員	総合
1	児童は楽しく登校している。	A	A	A	A
2	児童は外で元気よく遊んでいる。	B ↓			B ↓
3	児童はよい姿勢で学習している。	B	C	B	B
4	教師は、基礎的・基本的な学力向上のために授業改善に取り組んでいる。			A	A
5	児童は学習したことが身に付き、学力が向上している。	A	A	A	A
6	児童は学年相応分の家庭学習ができています。	A ↑	C	B	B ↑
7	児童は進んで読書をしている。	B	C	A ↑	B ↑
8	児童は「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。	A	B ↓	A	A
9	児童は気持ちのよい挨拶ができています。	A	A	A	A
10	児童は気持ちのよい「はいっ。」の返事ができています。	A	B	A	A
11	児童は、進んであったか言葉を使っている。	A	B	A	A
12	児童は履き物をそろえたり、ロッカーや机の中を整頓している。	A	C	A	B
13	児童は自分の仕事ではなくても進んでお手伝いができる。	A ↑	B		B
14	児童は委員会・係・ボランティア活動などで、気付き、考え、実行することができています。	A		A	A
15	児童は決めた目標に向かって、粘り強く、やりぬくことができています。	A	B	A	A
16	児童は学校のきまりを守っている。	A	A	A	A
17	児童は正しい言葉遣い、名前の呼び方ができています。	A	B	B ↓	B ↓
18	児童は友達と仲良くすることができています。	B ↓	A	A	A
19	児童は相手を見て話を聞くことができています。	A	A	B	A
20	児童は自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることができています。	A		A	A
21	児童は、クローம்பックのルールを守って使っている。ゲームやインターネットのルールを決めて守ることができています。	A ↑	C	A ↑	B
22	教師は、授業のユニバーサルデザイン化に努め、身に付けさせたい学習内容の理解を深めるためにデジタルとアナログを効果的に活用している。			A	A
23	教師は学習や生活のきまりをしっかりと指導し、確実に見届けを行っている。			A	A
24	教師は、教育相談を充実させ、相談事や悩みについて適切に応じている。	A	A	A	A
25	児童は次の日の準備をしている。教師は、宿題や忘れ物がないよう、きちんと指導している。	A	A ↑	A	A
26	学校ホームページや学校通信など各種お知らせに目を通している（保護者）		A		A
27	学校が保護者に出す文書や電話の対応等は、適切である。		A	A	A
28	学校は、いじめ防止に向けた取組を進めている		A	A	A
29	学校は、アンケート結果等を生かし、よりよい教育活動を進めることができています		A	A	A
30	教師は、人権・同和教育の視点に立った指導をしている。		A	A	A
31	教師は、一人一人を大切にした指導・支援をしている。		A	A	A
32	危機管理マニュアルを活用したり、安全点検を行ったりして、児童の安全確保に努めている。		A	A	A
33	児童は、朝ボランティアや清掃時間、黙って時間いっぱいがんばっている。	A		A	A
34	児童は、マラソンの学年目標を達成している。	A		B ↓	B
35	育豊会や学校運営協議会と連携がとれている。		A	A	A

考察

- ・全体的に児童の評価が高い傾向にあります。1学期と変わっていませんが、友達と仲良くできていると答えた児童の割合が他に比べて低いと感じます。教職員・保護者の結果から言葉遣いについてできていない様子も見られるので、よりよい友達関係のために指導、支援を引き続きしていきます。
- ・全体的にC評価は減っているが、立腰、読書、メディアバランスについては、引き続き課題が見られます。
- ・豊岡子のからしを通して家庭学習についてはチェックしているが、学年、児童によって差があり、できていない傾向が見られます。課題の出し方を工夫し、学年相当分の時間が確保できるよう家庭学習の充実を図ります。

保護者の皆様からのご意見

【連絡方法や配布物について】

- 学校通信や学年便り、カラー写真付きで子どもたちの様子が分かりやすいので続けてほしい。また、月の予定表も各学年の下校予定が書かれていて、分かりやすい。
→ 今後も可能な範囲で続けていきたいと思います。tetoru 配信に徐々に移行していくことも考えています。

【指導に関すること】

- いつも子どもたちの為に細やかな対応とご配慮をしてくださりがたい。
→ これからも子どもたち一人一人に応じた指導や支援をしていきます。
- 他学年ともたくさん交流をしておりうれしく思う。朝のボランティア清掃も魅力的な活動だと思う。
→ 単学級であるため人間関係が固定化されないよう、なるべく多くの人と関わりが持てるように続けていきます。
- 音楽会がとても良かった。歌声も大きくて合奏も上手だった。
→ 保護者の方にSSVにも来ていただきありがたく思います。来年度も音楽会に向けて計画的に指導をしていきます。歌声の響く豊岡小を目指します。
- 担任の先生が一人一人親身になり、独りぼっちや仲間はずしなどないよう配慮してくれて本当に助かっている。
→ なかよしアンケートを基に子どもと教育相談を定期的に行ったり、普段から全教職員で子どもたちの様子を共有したりしています。今後も子どもたち一人一人に寄り添った支援をしていきます。
- 女の子のヘアゴムについて、統一感を持たせるためかはわからないが、黒ではなく何色でも良いのでは。もちろん安全のため飾りがついた物は良くないかもしれないが、カラーゴムでも何も問題ないと思う。自分の好きなカラーゴムを付けることにより学校に行くことが少しでも楽しくことに繋がるのでは。
→ 生活のきまりについては毎年必要に応じて見直しています。女子のヘアゴムについては教職員間では黒、紺、茶などは可としています。今後もこれでいこうと考えています。
- 朝の登校の際、車で登校する子が多い。特に月曜日は荷物が多いためもあり車での登校が多く、2、3人で登校する事がある。体調不良や天候不良等でなければ、安全の為みんなで登校して欲しい。班長さんも居ない事が多く、登校が不安である。
→ 車での登校により、集団登校の形が崩れてきている傾向にあります。不審者対応や交通事故防止の観点から、集団登校は大きな意味を持っています。児童の安全確保と健やかな成長のため、徒歩による登校を呼び掛けていきます。
- 年に1回の遠足を校内ではなく、別の所にしてほしい。
→ 昨年度は雨天ということもあり校内遠足になりましたが、計画段階では校区内をオリエンテーリングで回ることになっていました。今年度も保護者にSSVを募るなどして安全面を一番に考え、思い出に残る校外活動を計画していきます。

【その他】

- 学期末の懇談会のときに換気の為だとは思いますがドアを解放しているため、懇談中の会話が筒抜けであった。できれば閉めて欲しい。
→ 換気のため窓は空かしていますが、ドアの開放については次回より配慮いたします。また懇談を行う机を廊下から離れた位置にするなどの工夫もします。
- 先生のサービス残業(土日勤務など)を減らしてあげて欲しい。もしくは、生徒を護る大事な仕事をしてくれているので、給料を上げてあげて欲しい。
→ お気遣いくださりありがとうございます。仕事と勤務時間とのバランスを考えて頑張っていきます。
- 町民運動会と小学校の運動会が合同で行われているが、世帯数が減少していくなかで以前と同じように今後も進めていくのか？
→ 開催の方法や種目数や時間などについては職員や町民運動会実行委員会で検討していきます。

【育豊会について】

- いろいろと見直しはされていくということだが、部によってしんどさが違うと、誰もやらなくなり、なってくれた方に負担がいくのはどうかと思うので、引き続き、今の人数や状況に応じた改善をお願いしたい。
→ 来年度は児童数、家庭数の減少に伴い役員数も検討しています。今後については今回のご意見を育豊会執行部とも共有して話し合っていきます。
- 他の部と比べて、施設部の活動負担が大きいと思う。資源回収の回数が減らないのなら、太鼓台の準備、運行、片付けの補助を他の部にしてはどうか。検討をお願いしたい。
→ 部の活動内容について2学期末の運営委員会でも共有しました。次年度の活動について各部の活動に差が出ないように育豊会執行部と考えていきます。